

# 夢をかたちに

令和7年度  
出水商業高等学校  
進路指導部  
進路便り  
No.10 2026/02/27

2月は、職場体験学習や進路体験発表会など、自分の「将来」について考える機会が多くありました。また、学年末考査は「今」の自分を見つめ直す大切な機会でもあります。2月は1年間の締めくくりの時期です。「できるようになったこと」「努力を続けられたこと」を振り返り、自身の成長を確かめてみましょう。同時に、「さらに伸ばしたいこと」も見えてくるはずです。進学希望者は基礎学力の定着を、就職希望者は企業研究や自己分析を進めるなど、今できる準備を着実に積み重ねていきましょう。その積み重ねが、やがて大きな自信につながります。

## 職場体験学習

2月3日(火)から2月6日(金)までの4日間、出水・阿久根・長島の各事業所で職場体験学習が実施されました。実際に“仕事”を体験し、働くことの意義や責任の重さ、礼儀や挨拶の大切さを学ぶ貴重な機会となりましたね。学校生活だけでは気づきにくい社会の厳しさややりがいに触れ、自分の適性や将来について改めて考えることはできましたか。今回の経験が今後の学校生活や進路選択に生かされることを期待しています。



## 進路体験発表会



進路体験発表会での先輩方の話を要約して紹介しました。皆さんの心に残る話や、共感できる内容、参考になる言葉はありましたか。卒業生一人ひとりが自分と向き合い、考え、行動してきたからこそ、それぞれにストーリーがあります。努力の結果は、良くも悪くも必ず出ます。今、卒業生の皆さんは自分の歩みをどのように受け止めているのでしょうか。在校生の皆さんも、1年後、2年後の自分がどのような心情・表情でこの時期を迎えているのでしょうか。進路指導室には、先輩方の軌跡が資料として残されています。ぜひ積極的に活用してください。

### ○アイリスオーヤマ株式会社 事務職 武下 里穂 (出水中学校)

私が本格的に進路を考え始めたのは2年生の冬でした。早く社会に出て自立したいという思いから「就職する」と決めましたが、具体的な職業は定まらず、不安や焦りもありました。そんな中、試験内容が多く大変だと感じながらも「せつかくだから挑戦したい」とアイリスオーヤマを志望しました。面接練習を何度も重ね、志望動機を納得いくまで書き直し、集団討論も友人と繰り返し練習しました。筆記試験も不安の中で努力を続け、自信につながりました。面接はやった分だけ上達し、努力は確実に積み重なります。今、進路先がまだはっきり決まっていないという人もたくさんいると思います。ゆっくり自分自身と向き合って、自分が行きたい、挑戦してみたいところに行くと努力しやすいと思います。これからのみなさんの進路がうまくいくことを願っています。

### ○マルイ食品株式会社 食品製造職 坂元 美優 (出水中学校)

私は入学当初から就職を決めていましたが、志望企業が定まったのは2年生後半でした。家族や先生に相談し、地元で働きたい思いと「食卓と笑顔のまん中に」という理念に共感し、マルイ食品株式会社を志望しました。面接では自分をよく知り、文章を丸暗記せず構成を意識して何度も練習しました。企業研究や先輩の報告書の確認、作文対策も重ねました。また、定期考査で上位を目標に学力維持に努めました。日頃の挨拶や欠席をしない姿勢、提出物や検定への取組も大切です。早い段階から進路に取り組むことで、選択肢や心の余裕が増え、自分の納得がいく進路選択がしやすくなります。学校生活を楽しみながら、悔いのない選択ができるよう応援しています。

### ○株式会社鹿児島銀行 総合職 川上 優衣（三笠中学校）

私は株式会社鹿児島銀行より内定をいただきました。2年生の夏、そろばんや珠算部で培った「数字を正確に扱う力」を生かし、お金を通して地域に貢献できる銀行員を目標にしました。力を入れたのは、自分探究・志望動機の早期作成・面接練習の三つです。経験を書き出し「なぜ頑張れたのか」を考えることで軸が明確になりました。志望動機は先生に添削していただき、自信につなげました。面接では金融知識や姿勢まで意識し、アドバイスを次に活かすことが大切です。欠席をせず、検定や部活動にも積極的に取り組みましょう。皆さんが自分に納得できる進路を見つけるきっかけとなれば嬉しいです。皆さんのこれからの進路活動を心から応援しています。

### ○鹿児島医療福祉専門学校 理学療法学科 倉田 侑人（出水中学校）

私は将来やりたいことがはっきりせず、当初はとりあえず進学を考えていました。オープンキャンパスに参加したことをきっかけに理学療法士という職業に出会い、体の仕組みやリハビリに興味を持ち、目標を定めました。進路活動で大切だと感じたのは、①日々の授業や提出物を大切にし評定を上げておくこと②実際に足を運び学校の雰囲気や学び方を確認すること③書類や期限を余裕をもって管理することです。自分で調べ行動する経験が、納得のいく進路選択につながります。私は進路活動を通して、自分の将来と向き合う大切な時間なのだと気づきました。評定を意識すること、オープンキャンパスへの参加、期限の確認を大切に、自分に合った進路を見つけてください。

### ○鹿児島県立短期大学 第一部商経学科経済専攻 奥平 つくし（出水中学校）

私は学校推薦型選抜入学試験を受験し、鹿児島県立短期大学に合格しました。将来、教育事務職員として教育に関わる仕事に就きたいという目標から、短大進学を決意しました。合格に向けて特に力を入れたのは、志望理由書の作成と面接練習です。志望理由書では「なぜこの学校がよいのか」を具体的に言葉にすることに苦労しましたが、先生方の添削を受けながら完成させました。面接対策では面接ノートを作成し、時事問題への自分の考えも含めて繰り返し練習しました。日頃から授業での発言や検定取得、部活動等に主体的に取り組み、自分を理解することが進路実現につながります。

### ○出水市役所 一般事務職 杉下 遥月（米ノ津中学校）

私は出水市役所一般事務職に合格しました。公務員には国家・地方の区分があり、出水市では一次試験にSCOAを含む基礎能力検査や事務能力試験、パーソナリティ検査、集団面接、二次試験に作文と個人面接がありました。問題集を繰り返し解き、1分以内で答える練習を重ねるなど対策に励みました。また、定期考査や生徒会活動、ボランティアなどに全力で取り組み、自分のアピールポイントを増やすことを意識しました。地域のために行動する経験が自信につながります。皆さんの進路実現を心から応援しています。

### ○熊本学園大学 商学部 商学科 蓮沼 大和（出水中学校）

私は指定校推薦制度を利用して熊本学園大学に合格しました。入学当初は専門学校志望で勉強もほどほどでしたが、多様な人と学びたいという思いから大学進学へと目標を変更しました。その中で実感したのは、1年次から継続して学習に取り組むことの大切さです。評定平均は約2年半の努力の積み重ねであり、校内選考突破の鍵となります。また、検定取得は書類選考での強みとなるだけでなく、自信や成功体験にもつながります。小さな努力を毎日継続することが、志望進路の実現につながります。皆さんの夢がかなうことを願っています。

### ○鹿児島大学 法文学部 法経社会学科 地域社会コース・経済コース 高田 夏夢（野田中学校）

私は学校推薦型選抜Iで鹿児島大学法文学部に合格しました。高校生活を振り返ると、進路は3年生で突然決まるものではなく、1年生からの積み重ねの結果だと実感しています。テストや検定、レポートに全力で取り組む中で身についた「努力する力」が、進路活動の大きな支えとなりました。勉強はきっかけ作りと仲間との協力が継続の鍵です。面接対策では先生方を頼り、自分にしか書けない文章を磨くことが重要です。高校生活は夢を選べる自分になるための準備期間だと思います。今日の小さな努力や挑戦が、数年後の自分を支えてくれます。ぜひ、今の高校生活を大切に、自分の可能性を広げてください。皆さんがそれぞれがそれぞれ選んだ進路で活躍されることを心から応援しています。